

04.『街のテクスチャ』

街でみかけた建物や看板や壁面といった、「あれはナニ?」と気になったものを取り上げていきます。



この壁面のカラフルなブロック、どこかで覚えのある色と形じゃないですか? これは西区にあるヨシヅヤ名古屋名西店の、愛知万博のスペイン館の外壁ブロックが1階エスカレーター横の吹き抜けに設置されています。万博が終わった翌年(2006年)に開業したこちらの店舗に友好の証として置かれているとのこと。

05. しんみち・採集記

安田印刷工業の近くでみつけたグルメや商品などを紹介していきます。今回は居酒屋さんです。



押切の交差点を南に少し歩いた所にあります。少し小ぢんまりとした町の居酒屋さんです。頂いたのはランチメニューのひとつ、「から揚げ定食」で1,100円。サラダと汁物と小鉢に漬物が付いてきます。この他にも和定食を中心にメニューが豊富で、美味しい刺身が付く日替わりランチもおおすすめです。

お酒とお食事処 にし多【営業時間：11:30~14:00/17:30~22:00・日曜定休】
名古屋市西区菊井 1-3-1 (地下鉄浅間町駅より徒歩5分)

06. Tomo's TALK 代表取締役社長 安田 智雄のコラム

Overview



先日見たドラマで、病床の男性が「今日は人生最良の日だ」と言い、静かに最期を迎える場面が印象的でした。それをきっかけに自身の人生最良の日を考えたところ、小学校で登り棒の頂上に到達した日、中学や大学受験で合格を知った瞬間、結婚式の日、子どもが生まれた日など、かけがえのない瞬間が思い出されます。一方で、ここ十年二十年は、かつてのように心が震える日があまり思い当たらないことにも気づきます。子どもの頃は新しい発見や感動が多く、時間がゆっくり感じられ

た一方、大人になると経験が増え、感動が少なくなることで時間が早く過ぎるように感じる——そんな話もあります。けれど、だからといって感動が終わるわけではありません。これからの一日一日を「あの日が人生最良の日だった」と言える日にしていきたい——そんな前向きな思いが込められています。人生最良の日は過去だけでなく、これから訪れる一日にもきっと見つかるのだと思います。



お客様の思いを伝えることがYASUDAの使命です。

2026年8月末日 発行

発行者: 安田 智雄

発行所: 〒451-0043

名古屋市西区新道2丁目13番10号

安田印刷工業株式会社

TEL.052-533-0088

FAX.052-571-1200

SNS・HPは
こちらから



SDGs宣言企業を
応援いたします。

安田印刷工業がお手伝いいたします

各種印刷物からWeb、広告、販促物などお客様の思いを伝えることならお気軽にご相談ください。

【印刷物一例】名刺／DM／チラシ／ポスター／冊子／カタログ／リーフレット／POP UP／のぼり／懸垂幕／横断幕／パッケージ etc.

【経営理念】『球角球』お客さまの要望に応え 自らの成長を志し お客さまを創造し続ける

YASUDA
PRINTING CO., LTD.

より良い印刷のためにできること

SOUZOU

September 2026

Vol.

64

TAKE FREE



01. Print of Creative
AIは現場で本当に使えているのか?

02. Shine's EYE
スタッフのひとりゴト

03. 今月の推し紙

04. 街のテクスチャ

05. しんみち・採集記

06. Tomo's TALK Overview

Yasuda Printing Co.,Ltd

01. Print of Creative

AIという存在がかなり身近になってきている今、印刷や広告制作などでもその役割は広範囲に渡って活用されてきています。だからといってそのすべてがAI任せにできないという現実と実際に現場で活用されているリアルなお話をAIとこの世界の業務について制作担当の方に色々とお話を伺っていききたいと思います。

単刀直入に伺いますが、現場でAIは使われているのですか？

はい、もちろん活用しています。画像やイラストや図形の生成をはじめ、企画案やコピーといったテキストの制作など様々な場面で助かってます。最近ではOCRの機能も向上してきて、手書きの原稿なども思ったよりしっかりとテキスト化

してくれています。当然最終的には人の目で確認するのですが、一から打ち込むよりは随分と楽になったと感じますし、そういった一連の作業が専用のスキャナーとかの機器を使わなくてもほとんど自分のデスクの上で処理できることも時間短縮という意味も含めてかなり影響があると感じています。



①「国旗のようにたなびく布地を赤と青の2色で」がこの表現。

②ネコの前足と後ろ足が変な位置になってしまった。



③「真面目で真摯な眼差し」が怖い表情になってしまった。

④地図がまったく架空の世界に。

■実際のプロンプトはもっと具体的に詳細を伝えていますが、なかなか意図する表現に辿り着けなかった作例です。

実際に役立っているAIの機能とかあれば教えてください。

そうですね。デザインツールソフトで、写真の解像度を上げたり、スマホなどの機能でもよくある、余計なものを消したり、写真の背景を消して切り抜いたり。デザインでは色の組み替えや図柄の描き出しなどでもよく使っています。あと、画像やイラストの生成でもAIツールは非常に役立っています。ただし、思い通りの絵や写真を生成するのに何度もプロンプトを直したり参照画像を作ったりという苦労もたくさんありますけどね。

AIが得意とする領域と、決定的に苦手な領域があるのですね。

そういうことですね。特に「クライアントの本当の狙い」や「その案件ならではの空気感」を理解することは、AIには不可能です。AIが打ち出してくる案は、あくまで可能性の選択肢に過ぎません。その中から「課題に対して適正なものなのか」を見極め、細かな表現の方向性や違和感を修正し、最終的にひとつのデザインとして完成形に築き上げるのは、どこまでいっても私たち人間の仕事ですから。

「作業の効率化」だけでなく、むしろ人間の判断力が試されているのですね。

生成AIという新しいツールと、今後どのように向き合っていけますか？

AIによって創出された時間を使って、クライアントの要望や、デザインの質を高めるための思考に時間を割けるようになりました。最新のテクノロジーに振り回されるのではなく、自らの表現力を拡張する強力なパートナーとして手元で使いこなしながら、クライアントに寄り添った本質的な提案を届けていきたいですね。



■AIで左のビル画像を明るくして周りの電線や標識などを消してもらいました(右の画像)。しかし、手前の右下の歩道や道路の「止まれ」の文字も消えてしまっています。理想へ近づけるためには細かな指示が必要になってきます。

現場で聞きたいいろいろなお話

AIは現場で本当に使えているのか？

便利で今やなくてはならない存在になりつつあると言っても過言ではないAIですが、実際の仕事現場ではこういった使われ方がされているのか聞いてみました。

具体的にはどういったアプリやサービスを利用されているのですか？

デザインツールソフトなどに搭載されたAI機能や、日常的に使えるAIツールを模索しながら積極的に業務に取り入れています。キャッチコピーのアイデア出しや文章の要約、ビジュアルの構図を探るための草案として活用したりしています。そのまま使えそうだな! というものはなかなか出てきませんが、ゼロからアイデアを100個並べさせるような作業に関してAIは非常に早いし、様々なネタのきっかけにはなってくれます。

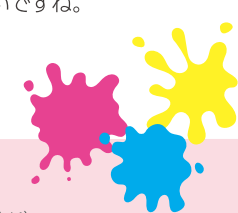
100個のアイデアですか。作業のスピードはかなり変わりますか？

けっこう変わりますよ。例えば「この商品の魅力を伝えるキャッチコピーを、切り口を変えて50パターン出して」と投げかければ、一瞬でいろいろなワードが出揃います。自分が一人で唸りながらノートに書き出していた時間を思えばあっという間です。ただ、やはりどこかにAIっぽさみたいなものは感じられるので、人が考えるものとの距離はもう少し時間が必要なのかも感じます。

では、デザインや文章の制作はかなりAIに任せられるようになったのでしょうか？

いえいえ、全くそんなことはありません(笑)。AIは「それっぽいアイデア」を大量に出すのは得意ですが、精密な文字の校正や、文脈に応じた繊細なニュアンスの読み取りは驚くほど苦手なんです。普通にチャットをしていても全般的な回答を返してくることがあったりしますよね。ですから、AIが出してきたアウトプットをそのまま鵜呑みにすることは絶対にできません。

02. Shine's EYE スタッフのひとりリポート



冷房の部屋で過ごす、静かなお盆休み (制作部 K)



お盆休みは、特に帰省の予定もなく、かといって炎天下の中を行楽地まで出かけて人混みに揉まれる気力もまったく湧いてきませんでした。そこで以前から「いつか作ろう」と思いながら買い溜めていたプラモデルを、冷房のきいた部屋でのんびりと組み立てることにしました。最近のマイブームは、1/48スケールといった手のひらサイズの小さなミリタリー系プラモデルです。戦車や航空機などをコツコツと作り込んでいく作業は、暑い盛りの外出とは無縁で、静かな時間を過ごすにはぴったりでした。

道具の進化にも助けられました。近年は、シンナーなどの有機溶剤を使わずに水道水だけで希釈や筆・パレットの洗浄ができ、しかも10分ほどで乾燥が終わってしまう、扱いやすい塗料が登場しています。臭いを気にせず換気にも神経質にならずに済むため、部屋にこもって作業するにはうってつけです。こうした塗料を活用しながら、2日に1体ほどのペースでコツコツと完成させつつ、誰にも急かされることのない、自分だけの静かなお盆休みをゆったりと満喫していました。

03. 今月の推し紙

今回は、特種東海製紙株式会社様の斑ら模様が特徴的なファンシーペーパー、「羊皮紙」をご紹介します。



この紙は、紀元前から書写に使われてきた動物の皮(パーチメント)の風合いを模して作られた特殊紙です。写真のように12色のカラーバリエーションがあり、微細な凹凸が上品な質感を演出します。厚さも80kgから220kgまで4種類揃っており様々な印刷物に対応できます。結婚式やパーティーの招待状などにも最適です。